

不正を検出するための分析メカニズム

「データアクセス」

監査人、不正検査士およびコンプライアンスの専門家は、監査周期の短縮化、効率性の向上、範囲の拡大、また高リスク領域に対する調査と評価に資源を集中させなければならないなど様々なプレッシャーをかけられています。これらのプレッシャーは、世界的不況と相まって、あなたの仕事の範囲や管理方法を変化させています。

不正、過失、浪費および悪用は、基本的にどの組織でも直面するリスクです。収益が失われるリスクは常に存在します。誰かが資金を横領する、会社のプログラムを悪用する、あるいは会社の資金または信用を毀損させるような間違いを犯すかもしれません。適切なデータ分析プログラムを利用することで、組織は不正、過失、浪費および悪用による損失を食い止めることができます。まず最初にすべきことは、リスクの高い範囲を特定することです。次に、これら範囲のリスクを軽減するための、内部統制を実施する必要があります。最後に、すべての取引データを100%分析することにより、これらの統制を検証することが非常に重要です。



すべてのデータへの容易なアクセス

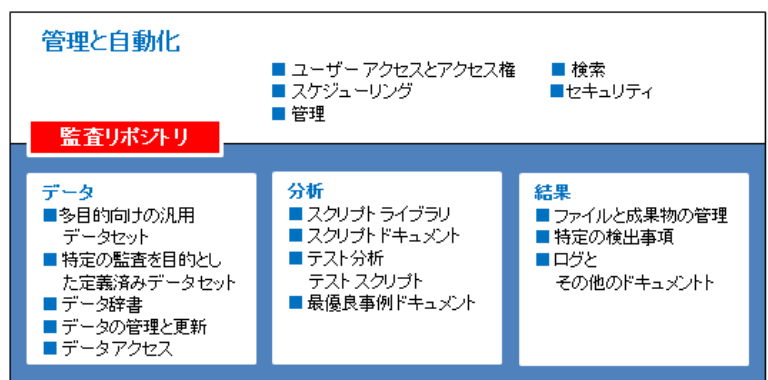
不正を検出するためにデータ分析を行うには、特定のビジネスプロセス領域の基盤となるデータにアクセスする必要があります。これらには、取引データはもちろんのこと、多くの場合、マスタファイルやシステム構成データも含まれます。本番稼働中の運用システムデータへのアクセスは、今日の内部監査人が直面している難題の上位に挙げられています。

最も一般的で効果のある総合的な解決方法は、企業におけるデータセキュリティおよび管理基準に則った、安全なサーバー環境に監査データリポジトリ(情報の貯蔵庫)を作成し、保守することです。

このリポジトリは、企業データのうち監査目的に必要なサブセット(一部のデータ)のみから構成されます。これはデータ量が多いように見えても、企業のERP(企業資源計画)システムおよびアプリケーションシステムに含まれているデータ量より格段に少ないことを意味しています。リポジトリは、場合によって、単なるデータソースへのポイントのみからなることもあります。データが物理的にダウンロードされる場合には、データが定期的に自動更新されるため、監査分析の対象となるデータは常に最新の状態になります。専用サーバーで企業データのサブセットを保守するという事は、監査人により、広範囲な分析が行われても運用システムのパフォーマンスに影響を与えないということも意味しています。

監査リポジトリに含まれるデータには、分析目的に必要なデータしか含まれていないため、全てのデータ要素は平均的な監査人や不正調査員に対して、彼らが理解できる方法で説明することができます。

サーバー環境は、データアクセスおよびセキュリティに対する企業基準を効率よくサポート、実施するよう設計されています。ノートパソコン、デスクトップパソコンおよびローカルエリアネットワークなどといったエンドユーザーコンピュータ環境に対しても、セキュリティ基準や手続きを定めることはできますが、通常、それらは、より簡単に回避することができ、強制することも難しくなります。サーバーを介してデータにアクセスすれば、特にサーバーが集中セキュリティ管理下に置かれている場合、セキュリティは確実に効果的なものになります。このため、不正検出と防止のためのデータ分析において、サーバー環境はベストプラクティスとして特に推奨されます。



データ制御とセキュリティ

不正検出のためにデータ分析を行う際の重要なことは、分析されているデータが、総勘定元帳または補助元帳残高からなるデータ母集団と完全に同一なものであることを確実にすることです。この必須条件は見落とされがちで、その場合、行われた分析手続きが不完全であったり無効な結論が導き出されることとなります。データ制御についてもう一つ重要なことは、行われた処理ごとのコントロール合計や処理ログを維持し、後のレビューのために利用可能な状態にしておくことです。データセキュリティを守り、制御するために組織は広範囲にわたる方針や手続きを持っています。一方で、一部の監査組織によっては、監査を行うために重要なデータを監査用のワークステーションやノートパソコンにダウンロードするということが一般的に行われています。これはデータへ直接アクセスできるという意味では効果的かもしれませんが、データセキュリティ規則を回避していることにもなり、特に不正の調査中であれば一般のセキュリティ規則に違反することにもなります。なんらかの暗号化が使用されていたとしても、重要なデータを持った1台のノートパソコンの制御を失うことが、組織にとって重大な危機となりがちです。

大量データの迅速な分析

データの分析を効果的に行うためには、大量データを迅速に処理する必要があります。プロセッサやデータストレージという観点から見るとノートパソコンやデスクトップパソコンの性能は以前に比べて非常に高くなっていますが、サーバーは、エンドユーザーの応答時間に対する影響を最小限に抑えつつ複数のユーザーによる大容量データを処理するという高負荷の用途のために設計されています。すべてのデータ処理がサーバー上で行われるため、ネットワークトラフィックも大幅に軽減されます。次の処理のためにデータファイル全体をネットワーク越しに渡すのではなく、ユーザーのデスクトップには結果のみが返されます。